学校番号	306

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理 A	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　新地理 A（帝国書院）						
副教材等	図説地理資料　世界の諸地域 NOW（帝国書院） 新詳高等地図　（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・グローバル化を感じる。
・自然環境の違いにより、生活・文化が変わるという視点を持つ。
・地理的状況を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本在り方を考える。

2　学習の到達目標

現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方、考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め，それを意識的に追究するとともに，国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし，地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに，国際社会の変化を踏まえて公正に判断し，考察の過程や判断した結果を適切に表現する。	地図や統計，画像など地域に関する諸資料を収集し，有用な情報を選択，活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付ける。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し,その知識を身に付けている。
評価方法	授業態度 ワークシート 小テスト 提出課題 ノート提出 定期考査	授業態度 ワークシート 提出課題 ノート提出 定期考査	ワークシート 小テスト 提出課題 ノート提出 定期考査	授業態度 ワークシート 小テスト 提出課題 ノート提出 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	C	d		
1学期	地球儀や地図でとらえる現代世界	・球面で世界を考えよう ・世界観の広がりと地図 ・国家の領域と領土問題 ・国家をこえた結びつき ・情報・通信で一体化する世界 ・人・「もの」・資本で結びつく世界	○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a：衛星画像や地理情報システムなど新しい地図表現に，関心を持ち，主題に意欲的に考察している。 b：設定された主題について，地域性に考慮しながら，これらが人間の生活をどのように変化させているかを地図から考えることができる。 c：教科書掲載の「ワーク」に適切に取り組み，時差の計算ができたり，情報を有用に活用できる。 d：地球儀上の位置の示し方や時差の考え方を身につけ，各主題について理解を深める。	授業態度 ワークシート 小テスト 提出課題 ノート提出 定期考査
	世界の人々の生活を取りまく地理的環境	・さまざまな環境のなかで暮らす人々 ・世界的視野から見た地形 ・世界的視野から見た気候 ・世界の気候と生活 ・世界の民族・宗教と生活・文化	○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○	a：世界の自然環境ついて，なぜ現在のような分布になったのか，関心をもつことができる。 b：各気候帯の雨温図から，その地域の気候の特徴を読み取ることができる。 c：教科書に掲載されている民族や宗教に関する図版・写真を適切に使用している。 d：なぜ世界にさまざまな地形や気候が見られるのかを理解し，さまざまな地形の上で見られる人々の生活環境や，気候区ごとの生活の特徴を，知識として身につけている。	授業態度 ワークシート 小テスト 提出課題 ノート提出 定期考査

2学期	世界の諸地域の生活・文化と環境	・東アジアの暮らしを学ぶ ・東南アジアの暮らしを学ぶ ・南アジアの暮らしを学ぶ ・ヨーロッパの暮らしを学ぶ ・北アメリカの暮らしを学ぶ ・中央・南アメリカの暮らしを学ぶ	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○	a：世界の人々は，それぞれの地域の環境の中で，どのように生活しているかについて，関心をもつことができる。 b：世界各地域の生活と文化を学習することによって，異文化摩擦などが起こっている現状に気づくことができ，日本の生活・文化を絶対視することなく，広い視野から異文化を理解し，尊重することが必要なことを考えることができる。 c：他の地域で暮らす人々の情報を，ガイドブックや地誌・紀行文，インターネットなどで調べ，異文化理解のために取り組むべき課題を見つけ出すことができる。 d：世界のさまざまな地域性をつかみ，一体化が進む世界を各国の取り組みなどから理解することができる。	授業態度 ワークシート 小テスト 提出課題 ノート提出 定期考査
	私たちが直面する地球的課題	・地球的課題の地理的な側面 ・人口問題 ・食料問題 ・資源・エネルギー問題 ・地球環境問題 ・地球的課題への取り組みと国際協力	○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a：地球的課題は，地域によって現れ方が異なっており，その地域性に関心をもつと同時に，その地域性に応じた取り組みを考えようとする態度が身についている。 b：地球的課題の解決にあたっては，地域の環境条件を踏まえて行うことが大切であることに気づき，日本などの先進国が広い視野に立って，その解決にあたらなければならないことを理解することができる。 c：各地球的課題について，問題点を抽出し，図書館やインターネットなどで調べることができる。 d：先進国と発展途上国で対照的な問題があることを理解できる。	授業態度 ワークシート 小テスト 提出課題 ノート提出 定期考査

3学期	日常生活と結びついた地図	・身近な地図を読みこなそう ・地図表現について考えよう ・地形図を活用しよう	 ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○	a：身近にあるさまざまな地図を収集して，地図を読むことの楽しさに関心をもつことができる。 b：作業をとおして観光地図や地形図などさまざまな地図を読むことができる。 c：観光マップや所要時間マップなど，教科書に掲載されている地図を適切に参照することができる。 d：さまざまな内容の作業を行い，地形図を読む際の決まりごとを知識として理解している。	授業態度 ワークシート 小テスト 提出課題 ノート提出 定期考査
	自然環境と防災	・日本の自然と生活 ・自然災害に備えた暮らし	○ ○	 ○	○ ○	○	a：身近な地域で起こりやすいとされている災害に対し関心を持って学習し，地域の防災・減災に向け貢献しようと積極的に取り組んでいる。 b：作業をとおして日本の気候と農業，気候と河川の関係性について理解できている。 c：教科書に掲載されている写真や地図・図版を適切に参照し，自然災害が多発する日本列島に，豊かな文化が築かれた背景を考察する。 d：自然災害の多い日本列島でも，人々の生活に大きな影響を与える火山災害，水害，地震について，現象やこれまで受けてきた被害を理解するとともに，先人の知恵と工夫が詰まった災害に備え，災害とともに暮らす生活について考察できている。	授業態度 ワークシート 小テスト 提出課題 ノート提出 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。